



No. 200

H16年2月1日

— 発行 —

〒869-1217

熊本県菊池郡

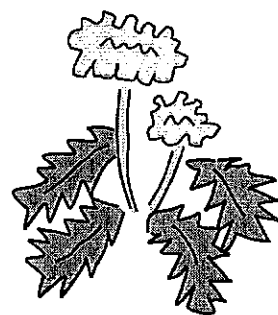
大津町森 54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

☎096-293-8100



実習ボランティア

いつも皆様の御協力、御支援ありがとうございます。2月は主な園内行事はありませんが、マラソンの時期です。2月14日はライオンズ杯駅伝大会、2月22日は大津ジョギングフェスティバルがあります。毎年、スポーツクラブから参加し、スタッフも引率で共に走っています。もし、利用者の方と一緒に走りたいと思われる方は、是非、ご連絡を下さい。共に汗をかき笑顔を増やしましょう。

毎回、ボランティアを募集してばかりなので、今度からは利用者の方達が、何かボランティアでできることがないか探しています。何か良い情報がありましたら、是非、教えて頂きたいと思えます。

両角 (ボランティアありがとう)
※生け花 西村 栄子
※ピアノ演奏 井川まり子
敬称略



「たんぽぽ」

発刊200号に寄せて

三気の会理事 田中 満子

「たんぽぽ」200号発刊おめでとうございます。16年10ヶ月にもなるんですね。この間ひと月も休む事なく継続できたことに対して施設、編集担当のスタッフへ心から労をねぎらいたいと思います。これを機に開所当時から今日迄を少しかえりみてみました。

中学部を卒業したばかりでまだあどけなさを残す我が子が、初めて親元を離れ施設で生活を送る事になった時、どうしても不憫さだけが先に立ち、どれ程涙したかわかりません。どの親御さんもきっと同じ思いだったのではないかと思います。

そんな日々の中、子供達の施設での生活の様子を詳細に伝えてもらったのが「たんぽぽ」ではなかったかと思えます。毎回一喜一憂

しながら読んでいたのが懐かしく思い出されます。まだ手書きの時代でその作業も本当に大変だったのではないかと思います。

時も流れ、ワープロからパソコンへと変わり文字もきれいになり内容も段々と充実してきました。今では保護者のみならず、沢山の方々に読んで頂き、中には「毎月楽しみに待っています。」とまで言ってく頂ける様になりました。本当にありがたい事です。

16年前20名余りでスタートした利用者の方も今は8名、通所部7名と自閉症の施設としては全国一の規模になりました。幼な顔だった息子ももう30代。家で過ごした日々より施設での生活が長くなった事になります。

家庭にいては出来ない経験を沢山積み、少しは成長してくれました。自閉症という障害があるが故に



班ニュース

2班・綾子さんの日曜日

綾子さんは、毎週日曜日に家の近所の老人ホームへ洗濯物たたみのボランティアに出かけています。休日はそれが楽しみであり、潤いのある生活が営めているようです。

11月、知り合いのいる老人ホームへ一人出向きました。家族には事後報告でとても驚かれたそうです。老人ホームのスタッフも快く受け入れて下さり、綾子さんの頑張りを認めてくれています。毎週楽しみに行っていたのですが、ある日行くのが嫌だと泣いてしまいました。注意されたことが気になり行けなくなってしまいました。その後、帰宅中はボランティアに行きたいけど行けない…と葛藤が続き悩んでいました。老人ホームへ行く事を冬休みの宿題にしたところ行く決心が付いて、現在は毎週元気にボランティアに出かけています。一つ壁を乗り越え、一步成長したようです。

折り紙がとても得意な綾子さんは、「老人ホームに持っていくよ」と張り切って、きれいな折り紙を制作しています。そんな優しさを持った綾子さんは今年成人を迎えます。素敵女性になってほしいと願っています…

石田

3班・冬の間…

寒い日が続いておりますが、皆様元気にお過ごしでしょうか？私達農園芸班はこの寒い冬空の下でも、寒さに負けず防寒着を着込んで外に出て作業活動を行っています。今の作業は収穫作業がほとんど終わり環境整備的なものと、次期（春先）に向けた畑の手入れ的な事が中心となっています。その中の一つを紹介すると、年間数回の切り返し等を行ないながらりっぱな？腐葉土と化した栄養たっぷりの土を、濾し器を使って手作業で木片・石ころ・プラスチック等収集の段階で混じってしまった不純物と土とを分けていきます。その作業のスペシャリストの高木さん・荒川さんは、この時期は特に休む間も無いくらいに大活躍です。そしてその腐葉土の元となる落ち葉拾いを環境整備と称した（いかにも施設に貢献しているような表現ですが…）他のメンバーがドンドン集めていきます。その集め方次第で来期の腐葉土の量が決まると言っても過言ではありません。その良質の腐葉土と馬糞（森川様より頂いている）の栄養分をたっぷり吸収した上、利用者の皆が愛情を込めて育てた三気の里の無農薬の野菜や花達が美味しく、美しく無い訳がありません。まだ三気の里の野菜を召し上がったことの無い皆様、是非一度ご賞味ください。（近隣での販売委託先も探しております）そして、コタツの中で丸まっているあなた、皆と一緒に外作業を体験しませんか。身体の芯から温まりますよ。 木下

1班・心新たに

新年明けましておめでとうございます。2004年の幕開けです。長い冬休みも終わり、早速、毎日J Tの作業に忙しい1班のメンバーです。昨年12月24日三気の里で初めてのボーナスが出ました！みんなが毎日一生懸命働いた成果の証です。ボーナスの使い道はいろいろだったことでしょうか。私が働き始めた時、俊二さんは、パッキンのゴムはめでは、ゴムが製品に乗っているだけの状態でした。しかし、今ではしっかりとゴムが製品にはまっています。この2年間たくさんの種類の製品を仕上げる事が出来るようになりました。この俊二さんの頑張り、ここまで出来るようになったことの嬉しさを忘れず、今年もみんなで力を合わせて頑張ってください。心気一転。昨年以上に気合を入れて、全員健康、収入アップを目標に頑張ってください！！

桑野

さんサン工房

さんサン工房では、毎日バイクの下請け作業を頑張っています。12月は、早く作業を終わらせて、さんサンの周りの環境整備に取り組みました。まず、作業所の周りの草取りから始めて、花壇作り、お花を買ってきて花を植え、次にトイレの掃除、さんサンの看板書き、窓拭き、やる事が多くありました。みんなで頑張って作業をやったので日に日にさんサンの周りがきれいになっていきました。ペンキを買って来て、すのこに好きな絵を書いて、トイレの中も水をかけて、タワシでゴシゴシ、マットを敷いて出来上がり！！とってもきれいになりました。次は何をしよう、次はどういう具合に作業所がきれいになっていくのかと、何か嬉しくなって、どんどん進んでいきました。毎日同じ仕事ではなくて、たまに違う仕事をするのも気分転換になって良かったのかもしれないですね。すごくきれいになったので散歩の途中にも覗いてみてください。ところで、今作業がない時間を使って、キティちゃんのひな人形作りをしていますよ。是非買ってくださいね。

中村

通所部・通所部の皆さんよろしくお願ひします！

12月1日付けでさんサン工房より異動になり通所部で仕事をする事になりました。今まで工房の利用者の方は、自分の事は自分でできる方が基準でしたので、作業も自分達で準備をしてスタッフが何も言わなくても出来ていました。しかし、通所部へ異動し利用者の違いにかなり戸惑いがありました。まず、毎日同じ事をしていても、スタッフが一つ一つ促したり、指示を出さないと止まってしまう方、違う事をしてしまう方、指示が分からない方などが多く、こんなにも重度の方が通所なの(?)と正直思いました。しかし、皆よく作業を頑張っているのです。スタッフも利用者との関わりの中、報告したり質問をしたりとコミュニケーションやマナーをととても重要に対応されています。スタッフ側の対応の違いを感じています。また、一番最初に大変だと思ったのは、昼食時間でした。工房の時はゆっくり食べてもらえれば良かったのですが、通所の方は好き嫌いも多く、同じ物ばかりを食べたり、吐きそうになったりと目が離せません。

まだまだ分からない事の多い私ですが、少しずつ皆と成長できるよう一緒に頑張ろうと思います。皆さん、よろしくお願ひします。

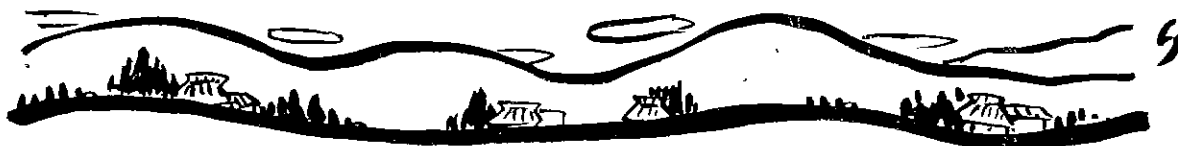
大橋

4班・新たなチャレンジ

新年もまた、4班は新たな気持ちで、いろんなことにチャレンジする年にしたいと考えています。今年もよろしくお願ひ致します！

さて、まだまだ紙をすく水も冷たい日が続いていますが、冨田さんは笑顔で、きれいなハガキをたくさん作っています。昨年からハガキの質も向上してきており、一度失敗したハガキをもう一度、一枚一枚丁寧にミキサーにかけ、すくことによって、リサイクルにも成功することができました。その甲斐あってか、日に日に出来栄が良くなり、年賀ハガキ・ポチ袋と、たくさん作る事ができました。また、冨田さん・神沢さんの作るものは、色合いがとても良い為か、売上げも上々でした。昨年からの祝儀袋にも挑戦していますが、紙をすくサイズが大きくなり、まだまだ上手にすくことが出来ず苦戦しています。今年も、祝儀袋も納品先に納品できるように、みんなで力を合わせ、頑張っていきたいと思ひます。

末松



療育雑記

『行動について考える』

⑥ パニック

療育科主任 伊豆野良栄

問題行動といわれる中でも、特に対応に困惑されるのが、「パニック」だと思います。幼い頃は、身体も小さく、まだお母さんにも対応ができませんが、思春期になり、身体も大きく、力もついた子どもが示す本能的な激しい情動の不安（パニック）は、周囲もどうしていいか分からず、対応も困難になってきます。

「パニック」の背景には大体理由はあるでしょう。しかし、時に、全く理由が分からずに起こす事もあります。昔の記憶が些細な引き金でフラッシュバックされたり、動作活動の偏りによって、身体に筋緊張を蓄積させ、筋疲労を起こしていることも考えられます。自閉症の方の特性から、パニックを繰り返してしまったり、以前パニックを起こしたその場所を通過するだけで、パニックになったり、特定の人が声を掛けるだけで、パニックになるという悪循環を招いてしまします。

私たちは、そのようなパニックをできるだけ早急に回避し、たとえ起こしたとしても、早めに切り替えられる力を利用者とスタッフの間に作っていくようにしています。

その対応は、利用者によって様々ですが、日常生活場面の中で起こした場合、まずは、10mでも良いから、その場所を離れます。できるだけ静かな場所へ移り、本人の荒々しく激しい動きによって自傷や他害のないよう、安全を確保する姿勢の一つとして、仰向けに寝かせた状態で落ち着くのを待ちます。初めは落ち着くのに時間が掛かっていたのが、次第に早い時間で落ち着くようになります。本人の行動が落ち着き、呼吸のリズムや脈拍が通常に戻ったところで、カウントを取り、体を起こして、更にカウントをとり、徐々に普段の生活に戻していきます。（落ち着いたからといって、直ぐに普段の生活に戻すと、また、パニックになる事があります。そのように、うまく関わっていく事で、パニックになっても寝かせの姿勢をとる事で二〇分：一五分と、短い

時間で落ち着けるようになっていき、いずれは、パニックが起こりそうになっても、寝かせの姿勢をすれば落ち着ける、場所を離れれば落ち着ける…という具合に、情緒面がコントロールしやすくなっ

ていきます。ただ、紙面で書くように簡単なものではありません。本人の表情を見ながら、それぞれのケースによって、対応も微妙に変わってきます。また、寝かせだけでは難しいタイプの方もおられます。身体の内側から突き上げてくる動きを、本人ができる課題などさせていき、意識を変えていく事も一つの方法だと思います。

パニックや問題行動の多くは、最初は小さな事、何気なく放置してきた事の延長線上にある出来事です。パニックの時にだけ関わるのではなく、普段の生活の中で、できるだけ関わりを密にしておく事が、利用者の安心感にも繋がるものだと感じます。その上で、細心の注意をもって導いていかなく

初顔合わせ

去る1月2日に、初顔合わせを行いました。今年は4名の利用者が初詣で行き、それぞれに願いをかけ、おみくじを引き一喜一憂していました。女性グループはその後福袋を買い、温泉入浴。値段の割りにいい福袋を買ったと大喜びのりり子さんは、車中ずーっと喋り続け喜びを伝えてくれました。海の近くの温泉であった為、お湯がしょっぱいことに気づきビックリした様子でしたが、ゆっくり疲れを癒し、決意を新たに今年もいろんな事にチャレンジしたいと話していた皆さんでした。

岩本





忘年会

去る12月17日(水)大津町にあるエアポートホテルで三気の里の利用者、スタッフ全員(137名)の忘年会が行われました。初めての企画という事もあり楽しみ半分、不安少々といったところで始まり

ました。まず乾杯の掛け声を自治会会長の中嶋さんが元気に言い、食事が始まりました。コース料理という響きは良いのですが料理が一品ずつ出てくるのが苦痛ともとれるのです。しかし、次の料理をじっくり待つのも楽しみなのか利用者の皆さんの表情、態度には落ち着きさえ感じられました。食事を楽しみながら、ステージでは自治会の出し物、歌と踊りが披露され全体に歓声が聞こえ他の利用者も一気に盛り上がりました。

食後のカラオケでも多くの利用者がステージに立ち、いろんな歌を披露。日頃見られない姿にスタッフもびっくりする場面も。約2時間があつという間に過ぎ去

り時間がいくらあっても足りないくらい盛り上がりました。最後は自治会副会長の福嶋さんが挨拶と万歳三唱で締めこの会を楽しく終える事が出来ました。多くの利用者、スタッフに好評だった為、来年もこの会が出来ることを願っています。

阿南



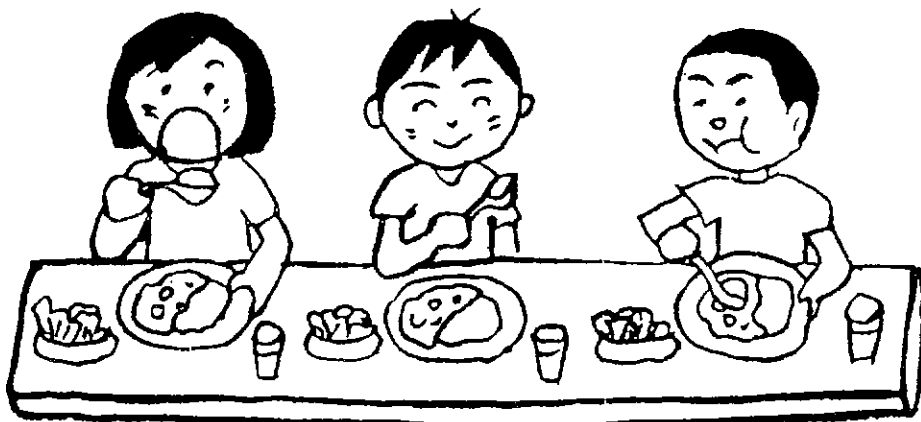
利用者感想

自治会の出し物にも積極的に参加し、盛り上げてくれた、楳木さんに食事会の感想を書いてもらいました。

今日はみなまでお食事会という事でみんな本当に一年間、掃除、作業、ごころう様でしたの事で、職員と、園生、就労班も、みんな園のバスと、エアポートホテルの緑の色のバスを使いました。ドリ

フターズのババンバンバンバン
のいい湯だな、をおどり、練習も
して、かつらを頭にかぶり、ピニ
ールスカートを着て、ステージに
立って、みんなが楽しめるように
しました。なかしま君が一番大笑
いしてました。カラオケタイム、
おどり、お食事がこうかだったし、
ホテルなので宿泊かと、一つかん
ちがいする私でした。

楳木



2004年 2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1	2	3 岩永さん(37) 森川さん(33) の誕生日	4	5	6	7	
8	9	10 荒牧さんの 誕生日(34)	11 伊 建国記念日	12	13	14 家族会 ライオンズ 駅伝杯	
15 4R 白川	16	17	18	19 誕生会	20 明日香さん 誕生日(26)	21	
22 大津ジョギン グフェスティ バル	23	24	25	26	27 神沢さんの 誕生日(59)	28 帰宅バス	
29			14日家族会、ラオンズ杯駅伝 15日4R 白川 19日誕生会 22日大津ジョギングフェスティバル 28日帰宅バス				

後援会ありがとうございます

麻生 由紀 麻生 美枝
松本 真彰 早川 秀希
那須 二郎

※敬称略

後援会募集のご案内

三気の会では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぼぼ」をお送り致します。

《振り込み先》

口座番号..郵便振替

01970・8・14902

社会福祉法人 三気の会 後援会

住所

熊本県菊池郡大津町森54・2

一口 3千円

団体は、1万円より



編集後記

今月の「たんぼぼ」は発刊20号!!16年の歴史を持つ「たんぼぼ」はどれくらいの人の手に渡っているのでしょうか。

後援会に入会して下さった方や、実習・ボランティアに来られた方、熊本県だけではなく全国の様々な施設や行政機関にも発送しています。もちろん三気のスタッフも読みます、利用者の家族も読みます。人から人へ渡り、三気の事をまったく知らない人にもきつと読まれているでしょう。これだけ多くの方の手に渡っている「たんぼぼ」です。

皆さんに楽しみに待っていただける「たんぼぼ」をこれからも目指していきたいと思えます。岩本

